

【概要版】

第8期上砂川町総合計画

2025-2034

『小さな町の輝く未来へ挑戦するまち』

I.基本構想

II.人口の将来展望

III.第8期上砂川町総合計画前期基本計画

(第3期上砂川町デジタル田園都市国家構想総合戦略)

目次

序 論	1
1. 計画策定の趣旨と背景について	1
2. 計画策定にあたり重要視すべき視点	2
3. 計画の構成と期間	4
I. 基本構想	5
1. まちの将来像	5
2. 基本構想の期間	5
3. まちづくりの大綱	5
II. 人口の将来展望	6
III. 第8期上砂川町総合計画前期基本計画	8
(第3期上砂川町デジタル田園都市国家構想総合戦略)	
大綱 1 健康で心豊かに暮らせるまち（子育て・学び・健康・福祉）	10
大綱 2 活気とにぎわいがあふれるまち（産業・雇用・観光）	11
大綱 3 生活環境が整った住みよいまち（安全・安心）	12
大綱 4 次世代につなげるまち（地域・行政）	13
付属資料	14
1. 委員名簿	14
2. 策定手法（フロー図）	15

1. 計画策定の趣旨と背景について

本町におけるこれまでの取り組み

本町では、令和 3 年度から令和 6 年度までを計画期間とする「第 7 期上砂川町総合計画後期基本計画」と、同じく令和 3 年度から令和 6 年度までを計画期間とする「第 2 期上砂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体的に策定し、両計画の整合性及び連携性を高め、想定される社会・経済環境の急激な変化に対応すべく、優先する課題や住民ニーズを的確に把握し、町民の皆さんが安心していきいきと暮らせるまちづくりと持続可能な行政運営に取り組んできたところです。

直面する課題

しかしながら、本町における人口減少問題は著しく進展しており、このことにより少子高齢化についても加速度的に進行しているのが現状であるとともに、今後ますます多様化・複雑化する住民ニーズや行政需要への対応が必要となっています。

国の動向

この間、国では「全国どこでも誰もが便利で暮らせる社会」をめざし、「デジタル田園都市国家構想」の実現を図るため、「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、令和 5 年度を初年度とする 5 か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました。

計画策定の趣旨

本町においても、これまで進めてきた地域の社会課題解決や魅力向上に向けた地方創生の取り組みを今まで以上に推進するため、デジタルの力を活用して継承・発展させるべく「第 2 期上砂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を「上砂川町版デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改訂し、「第 8 期上砂川町総合計画・第 3 期上砂川町デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定するものです。

2. 計画策定にあたり重要視すべき視点

◆SDGs（持続可能な開発目標）の推進

SDGs とは 2015 年9月の国連サミットで採択された 2030 年を期限とする国際目標で、持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットで構成されています。

先進国、開発途上国を問わず世界全体の経済、社会及び環境の三側面における持続可能な開発を統合的取り組みとして推進するもので、政府においても SDGs 推進本部が設置され、平成 29 年 12 月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略 2017 改訂版」では、「SDGs の推進は、地方創生に資するものであり、その達成に向けた取り組みを推進していくことが重要」とされています。

そのため、上砂川町でも総合計画の施策体系や取り組みを、SDGs の 17 の目標の視点からまちの実情に合わせて整理し、推進することで目標の達成を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



◆DX 推進施策の導入

第 8 期総合計画・総合戦略の策定にあたっては、次のような DX 推進施策を導入します。

【自治体業務関連】

- ①自治体情報システムの標準化・共通化
- ②マイナンバーカードの普及促進
- ③行政手続のオンライン化、公共施設のオンライン予約
- ④AI・RPA※¹の活用促進
- ⑤テレワークの推進
- ⑥セキュリティ対策の徹底
- ⑦オープンデータの活用・共有
- ⑧キャッシュレスの推進
- ⑨オンライン相談・面談
- ⑩情報発信の充実
- ⑪BPR※²の取組
- ⑫デジタル人材育成

【教育関連】

- ①ICT※³を活用した教育の推進

【地域社会関連】

- ①地域社会のデジタル化
- ②デジタルデバイド（情報格差）対策

※ 1：Robotics Process Automation の略称。パソコン操作による定型的な業務等を人に代わって自動で処理するソフトウェア・ツール。

※ 2：Business Process Re-engineering の略。業務本来の目的に向かって組織や制度を抜本的に見直し、業務フロー、情報システムをデザインしなおすこと。

※ 3：ICT は「Information and Communication Technology」の略で、日本語では「情報通信技術」と訳される。インターネットを活用した情報共有を実現する技術の総称のこと。たとえばメールやチャット、SNS といったコミュニケーションツールはもちろん、EC（Electronic Commerce：エレクトロニック・コマース＝電子商取引）サイトといった Web サービスも ICT に含まれる。

3. 計画の構成と期間

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。

基本構想

本町が目指す将来像とそれを実現するためのまちづくりの大綱等を示すものです。

【期間】 2025（令和 7）年度～2034（令和 16）年度（10 年間）

基本計画

基本構想に示す将来像を実現するためまちづくりの大綱に基づき、具体的な施策展開の方向や施策の目標を示します。

【期間】 前期 2025（令和 7）年度～2029（令和 11）年度（5 年間）

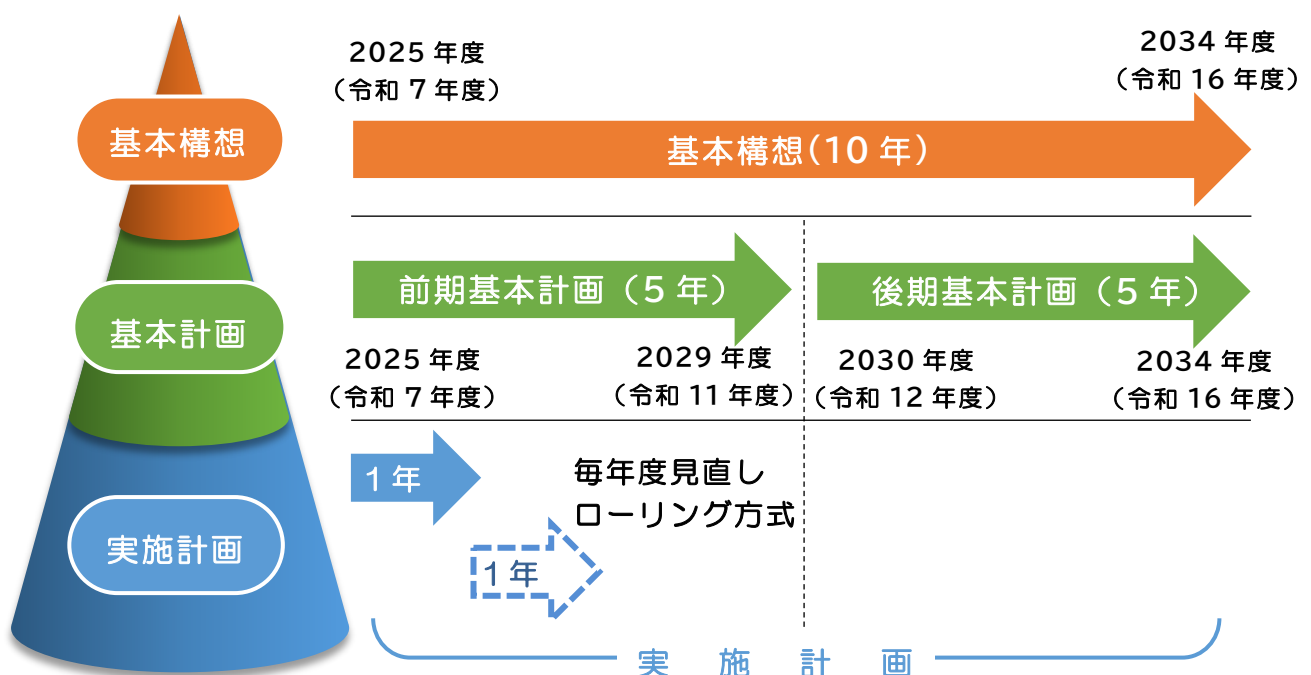
後期 2030（令和 12）年度～2034（令和 16）年度（5 年間）

実施計画

基本計画に示した施策の方向に沿って具体的な事業を示します。

社会経済情勢や住民ニーズ、財政状況などの変化に迅速かつ的確に対応するために、期間を1年間としています。

【期間】 1 年間（毎年見直し）



I. 基本構想

1. まちの将来像

将来像

小さな町の輝く未来へ挑戦するまち

北海道で一番小さな町で、子どもから高齢者まで夢と希望を持てるまちを目指すため、将来像を「小さな町の輝く未来へ挑戦するまち」としました。

これからも上砂川町に住み続けたいという思いをさらに広げていき、町民一人ひとりが上砂川町に住むことで幸せを感じることができるまちづくりを進めます。

将来像を実現するために、4つの「まちづくり大綱」を掲げ、積極的に推進します。

2. 基本構想の期間

基本構想の期間は、2025（令和 7）年度を初年度として、2034（令和 16）年度を目標年度とする 10 年間です。

3. まちづくりの大綱

大綱 1 健康で心豊かに暮らせるまち（子育て・学び・健康・福祉）

大綱 2 活気とにぎわいがあふれるまち（産業・雇用・観光）

大綱 3 生活環境が整った住みよいまち（安全・安心）

大綱 4 次世代につなげるまち（地域・行政）

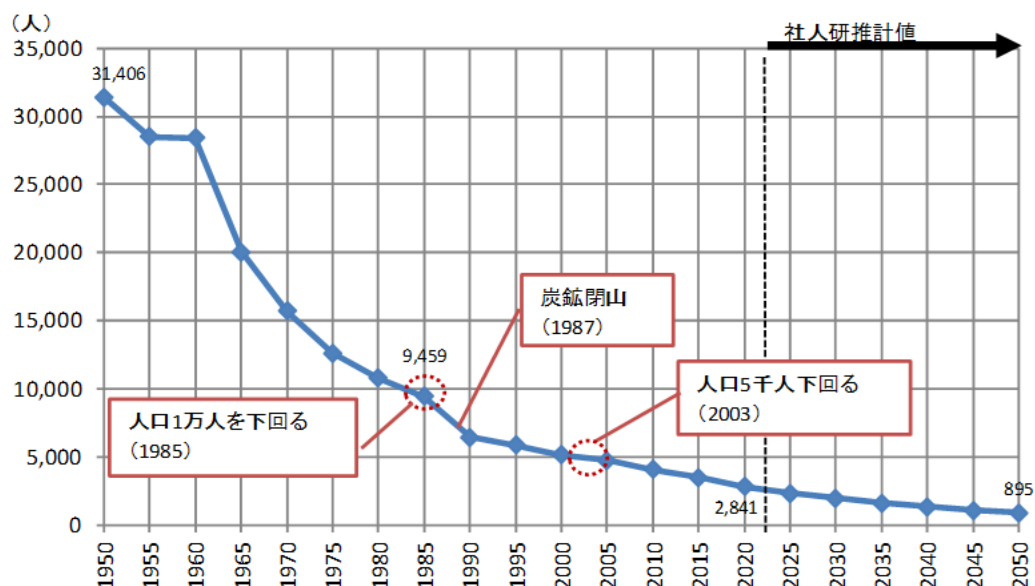
Ⅱ. 人口の将来展望

◆本町における人口の動向

本町の総人口は 1950（昭和 25）年 31,406 人でしたが、炭鉱合理化に伴い人口は急激に減少し、1985（昭和 60）年には 1 万人を割り込みました。その後も人口減少は続き、2024（令和 6）年時点では 2,438 人となっています。

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」と略称）の将来推計では、人口減少は続き、2050（令和 32）年には 895 人となると予測されています。

【上砂川町の人口推移と将来推計】



◆目指すべき方向性

本町がこれから人口問題に対応していくためには、出生率の向上による自然動態の改善と、移住・定住人口の増加による社会動態の改善により人口減少に歯止めをかけるとともに、人口構造の若返りを図ることが必要です。

さらに、超高齢社会・人口減少社会を前提とした、効率的かつ効果的な社会基盤づくりや子育て、産業・雇用、医療、住環境など総合的な取り組みが不可欠です。



●具体的な方向性

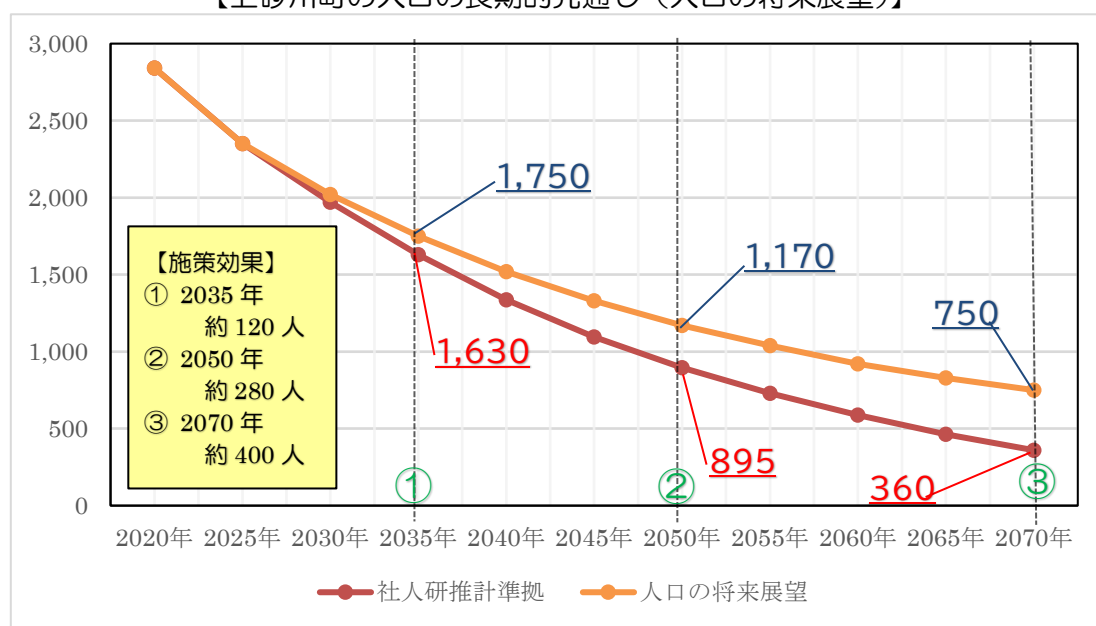
- ①「出生率向上」のための、安心できる子育て環境の提供
- ②高齢者が生き生きと健康に暮らし活躍できる社会づくり
- ③交流人口を増やし、人口流出に歯止めをかける
- ④元気な産業と安定した雇用の創出
- ⑤公共施設の活用・整備

◆人口の長期的な見通し

社人研推計準拠に基づく見通しでは、2035（令和 17）年の本町の人口は 1,630 人、2050（令和 32）年には 895 人、2070（令和 52）年には 360 人まで減少することとなります。

町の将来展望では、本計画に基づくさまざまな施策の推進と、合計特殊出生率と純移動率の改善を行うことにより、2035 年には 1,750 人、2050 年には 1,170 人、2070 年には 750 人となり、社人研推計と比較して、2035 年で 120 人、2050 年で 280 人、2070 年に 400 人の施策効果が見込まれます。

【上砂川町の人口の長期的見通し（人口の将来展望）】



◆目標年次における将来人口

以上のような人口の長期的な展望を踏まえ、計画期間における本町の将来人口は以下の通りとします。

目標年次 2035（令和 17）年
1,750 人

（社人研推計準拠 1,630 人。本計画により約 120 人の改善）

Ⅱ. 第8期上砂川町総合計画前期基本計画

(第3期上砂川町デジタル田園都市国家構想総合戦略)

■将来像

将来像

小さな町の輝く未来へ挑戦するまち

将来像を実現するために、4つの「まちづくり大綱」を掲げ、積極的に推進します。

■前期基本計画の期間

前期基本計画の期間は、2025（令和7）年度を初年度として、2029（令和11）年度を目標年度とする5年間

■施策体系

大綱1. 健康で心豊かに暮らせるまち（子育て・学び・健康・福祉）

- （1）安心して子どもを産み育てられるまちづくり
- （2）次代を担う人材を育成するまちづくり
- （3）誰もが健康で暮らしやすいまちづくり

大綱2. 活気とにぎわいがあふれるまち（産業・雇用・観光）

- （1）産業を振興し活気あるまちづくり
- （2）にぎわいと魅力あるまちづくり

大綱3. 生活環境が整った住みよいまち（安全・安心）

- （1）快適で住みよいまちづくり
- （2）安全安心に暮らせるまちづくり
- （3）脱炭素社会を実現するまちづくり

大綱4. 次世代につなげるまち（地域・行政）

- （1）ともに行動し活躍できるまちづくり
- （2）持続可能な行財政運営を推進するまちづくり

■計画の進捗管理

本計画の実効性、即応性を高めるため、計画・実施・評価・改善のPDCAサイクルを通じて、施策・個別事業の取組状況の評価を行い、進捗管理を行います。

■前期基本計画の成果目標

下記の成果目標を設定し、各施策を着実に実行することで、目指す姿の実現を図ります。

■将来像「小さな町の輝く未来へ挑戦するまち」の実現

項 目	実績値	目標値（R11）
人口	2,438人 (令和6年4月1日)	2,020人 (令和11年4月1日)
「町内に住み続けたい」と感じている町民の割合	63.9%※1 (令和6年度)	74.0% (令和11年度)

■人口減少対策への効果

項 目	実績値	目標値（R11）
合計特殊出生率（5カ年平均）	1.32 (R5年度)	1.35 (R11年度)
社会増減数（転入者数－転出者数）	▲41人 (R5年)	▲17人 (R11年)

■施策の推進

項 目	満足度※1	目標値（R11）
子育て・母子福祉の向上	25.4%	30.0%
学校教育の推進	17.6%	30.0%
高齢者福祉・介護の向上	33.5%	40.0%
住環境の整備	10.1%	20.0%
公共交通体系の整備	13.0%	20.0%
人口減少（移住・定住）対策	8.2%	20.0%
観光・イベント	11.1%	20.0%

令和6年7月に実施した町民まちづくりアンケート調査の結果より、施策の重要性・必要性が高い施策に対し取り組みを推進していきます。

※1 本書の巻末資料「町民まちづくりアンケート調査 調査結果のまとめ」を参照。

大綱 1

健康で心豊かに暮らせるまち（子育て・学び・健康・福祉）



安心して子どもを産み育てられるように、妊娠期から出産、子育てまでライフステージに応じた切れ目のない支援体制を整えます。

次代を担う人材育成のため、GIGA スクール構想のもと ICT を活用し、民間ノウハウなども活用しながら、自ら考え、判断・行動できる力と学力を身につけるため、習熟度に応じた学習指導を行うとともに、学校・家庭・地域が一体となった教育を行います。

住み慣れた地域で、生涯にわたって健康で安心して暮らせるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を構築します。

◆具体的な施策

(1)安心して子どもを産み育てられるまちづくり

- ①妊娠期からの切れ目ない支援
- ②仕事と育児の両立への支援
- ③幼児教育・保育の質の向上

(2)次代を担う人材を育成するまちづくり

- ①GIGA スクール構想の推進
- ②教育環境の充実
- ③生涯学習の充実
- ④スポーツ・文化の振興

(3)誰もが健康で暮らしやすいまちづくり

- ①高齢者福祉・介護の向上
- ②障がい者（児）福祉の向上
- ③健康づくりの推進

◆数値目標(R11)

指 標	基準値（R5）	目標値（R11）
合計特殊出生率	1.32	1.35
妊婦健康診査受診率	100%	100%
乳幼児健診・相談受診率	89.0%	95.0%
乳幼児健診・相談健診未受診者の状況把握率	100%	100%
「全国学力・学習状況調査」の平均正答率	-5ポイント以下 （全道平均との差）	全道平均以上
平均自立期間	男 74.7 歳 女 82.5 歳	男 74.9 歳 女 83.6 歳



地域経済の持続的な発展のためには、既存企業を支援し育成・助長を図るとともに、商業施設の誘致や新規開業者への支援により、活力ある商工業の推進に努めます。

また、学生やU・I・Jターンによる移住希望者など幅広い層に対し、企業の魅力をPRしながら労働力の確保を強化し、地域人材の安定した就業支援策に取り組みます。

上砂川岳温泉を中心とする観光資源を有効活用し、地域おこし協力隊との連携による観光イベントの強化により、交流人口の拡大を目指します。

◆具体的な施策

(1)産業を振興し活気あるまちづくり

- ①商工業の活性化
- ②企業誘致・新産業の創出
- ③雇用対策

(2)にぎわいと魅力あるまちづくり

- ①移住・定住の推進
- ②交流人口・関係人口の創出
- ③各種イベントへの支援
- ④発信力の強化

◆数値目標(R11)

指 標	基準値（R5）	目標値（R11）
町内の事業所数	70 事業所	76 事業所
町内企業で働く従業員数	224 人	250 人
社会増減数（転入者数－転出者数）	▲41 人	▲17 人



快適で住みよいまちづくりのため、町営住宅の計画的な維持・保全や道路・上下水道の整備に取り組みます。

安全で安心に暮らせるよう、発生が予想される災害などのリスクに備える防災・減災対策や、防犯・交通安全対策、有害鳥獣対策の強化及び消防体制の充実に取り組みます。

また、本町は 2023 年 3 月にゼロカーボンシティ宣言を表明し、2050 年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指しており、脱炭素社会の実現のため、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進、ごみの減量化と資源の有効活用による循環型社会の形成など、環境保全のまちづくりを進めます。

◆具体的な施策

- (1) 快適で住みよいまちづくり
 - ① 住環境の整備
 - ② 道路網等の整備
 - ③ 上下水道の整備
 - ④ 土地及び公共施設利用計画
 - ⑤ 地域公共交通の充実
 - ⑥ 空き家・空き地対策
- (2) 安全安心に暮らせるまちづくり
 - ① 防災・減災対策
 - ② 防犯・交通安全対策
 - ③ 消費生活の安定
 - ④ 有害鳥獣対策
 - ⑤ 環境衛生
- (3) 脱炭素社会を実現するまちづくり
 - ① 再生可能エネルギーの活用
 - ② 省エネルギーの推進
 - ③ 循環型社会の推進

◆数値目標(R11)

指 標	基準値 (R5)	目標値 (R11)
町営住宅空き家率	44.6%	37.0%
乗り合いタクシー年間利用者数	4,435 人	6,800 人
自主防災組織の結成状況	0 地区	5 地区
温室効果ガス排出量の削減率	32.0%	48.0%

大綱 4 次世代につなげるまち（地域・行政）



町民が生涯にわたり安心して暮らせるよう、地域住民や各団体と一体となり、新たな視点を持ち地域課題の解決に努めます。

また、社会が多様化する中で、性別による役割分担を是正し、すべての人が個人として尊重され、あらゆる分野において対等な立場で、意欲に応じてその能力を十分に発揮し活躍できる社会づくりを進めるため、男女共同参画の促進を図ります。

DXの推進については、行政事務の効率化に重点を置きながらデジタル基盤の整備を進めるとともに、デジタル人材育成に努めます。

行財政の効率的運営を図るため、町民の視点に立ち、時代に即した行政サービスの提供を行い、常に効果的で効率的な行財政運営と組織活性化を念頭に置きながら、より町民から信頼される役場づくりを目指します。

◆具体的な施策

(1)ともに行動し活躍できるまちづくり

- ①町民の参加と協働
- ②男女共同参画の推進

(2)持続可能な行財政運営を推進するまちづくり

- ①DXの推進
- ②行財政の効率的運営
- ③広域連携の推進

◆数値目標(R11)

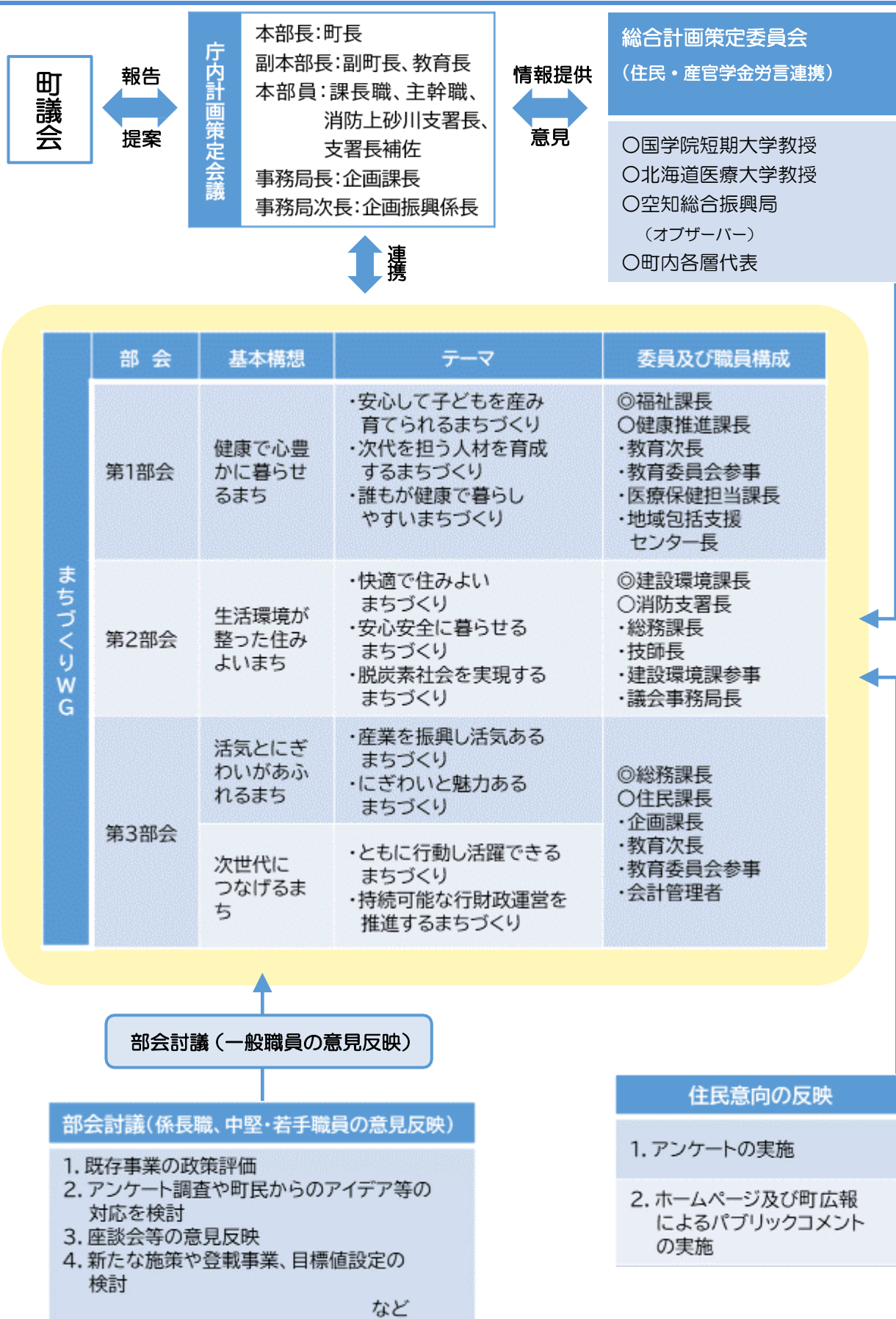
指 標	基準値 (R5)	目標値 (R11)
まちづくり町民会議の開催	1 回	8 回 (5 か年合計)
オンライン化による行政手続件数	32 件	64 件

付属資料

1. 委員名簿

区 分	団 体 名	役職	氏名	部会
有識者	国学院短期大学	教授	田中 一徳	
	北海道医療大学	教授	本家 寿洋	
産	上砂川商工会議所	常議員	今橋 祐太	第3部会
	上砂川商工会議所青年部	会長	柳川 拓也	第3部会
	上砂川町中央商店振興会	理事長	坂本 充生	第3部会
	上砂川建設業協会	副会長	柳川 博司	第3部会
学	上砂川町学校教育振興会	会長	林 宏和	第1部会
	上砂川町 PTA 連合会	副会長	エクルンド藍	第1部会
	上砂川町文化協会	会長	上村 千嘉子	第1部会
金	北門信用金庫上砂川支店	次長	田島 享和	第3部会
	上砂川炭山郵便局	局長	富田 克朗	第3部会
労	上砂川地区連合会	会長	村上 健一	第3部会
医	上砂川三師会	会長	宮本 享起	第1部会
少子化対策	上砂川町子育て支援ネットワーク会議	委員	佐藤 智恵美	第1部会
	上砂川町子ども会育成連絡協議会	会長	田中 正雄	第1部会
	上砂川町認定こども園ふたば保護者の会	会長	谷山 司	第1部会
高齢者対策	上砂川町社会福祉協議会	副会長	平間 正勝	第1部会
	上砂川町自治会連絡協議会	会長	渡辺 修一	第3部会
	中央連合町内会	13 町内会長	川上 元司	第2部会
	鶉本町自治会	副会長	高橋 尚志	第2部会
	東鶉自治会	副会長	勝又 寛	第2部会
	緑が丘自治会	衛生協力会会長	藤田 博	第2部会
	下鶉自治会	事務局長	伊藤 伸一	第2部会
	上砂川町認知症老人と共に歩む会	会長	阿部 文子	第1部会
	上砂川町老人クラブ連合会	会長	野々宮 賢史	第1部会
	上砂川振興公社	販売部長	高橋 博文	第3部会
産業振興	上砂川消費者協会	理事	蛭田 みほ子	第2部会
健康づくり推進	上砂川町体育協会	監事	高橋 良	第1部会
	健康づくり推進協議会	委員	小松 正伸	第1部会
生活環境 づくり推進	上砂川防犯協会	会長	河口 晴夫	第2部会
地域共生	手をつなぐ育成会	理事	檜 直希	第1部会
	上砂川町民生・児童委員協議会	副会長	東海 一男	第1部会
	エルムの里	生活支援員	山本 圭子	第1部会
民			脇 俊幸	第2部会
オブザーバー	空知総合振興局	地域創生部長	伊藤 洋史	

2. 策定手法（フロー図）



第8期上砂川町総合計画 【概要版】

令和 7 年 3 月策定



発	行	北海道上砂川町
編	集	上砂川町企画課
		〒073-0292
		北海道空知郡上砂川町中央北1条5丁目1番7号
T E L		0125-62-2011
F A X		0125-62-3773
U R L		https://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/

